



2018～2019年度
国際ロータリー会長

パリー・ラシン
Barry Rassin

(バハマ・East Nassau RC)



Tagajo Rotary Club

RI club No. 13674
Since 1972.03.25

会長 宮城 順 幹事 引地 辰男

雑誌会報委員会

第2520地区ガバナー

田中 堯史

(盛岡RC)

◇ 事務所/宮城県多賀城市八幡四丁目2-12 イトビル2F ◇ 例会日/木曜日 12:30～

TEL.022-366-4499 FAX.022-366-4548

◇ URL;http://www.tagajo-rc.com Email;info2@tagajo-rc.com

◇ 例会場/ホテル キャッスル プラザ 多賀城

宮城県多賀城市桜木一丁目1-60

TEL.022-367-1111

2018年9月20日(木) 第2240回 今年度第11回例会

会場監督 横田 芳博

開会点鐘 12時30分

ロータリーソング それでこそロータリー

ゲスト・ビジター紹介

仙台東ロータリークラブ 会長 庄子 顕志 様

幹事 小野寺 信幸 様

会長エレクト 秋葉 公博 様

会長挨拶 宮城 順 会長



先週の挨拶において次からロータリーに関する挨拶をと予告したのでちょっとお時間を頂きます。

今月の例会の最中に皆様へ北海道胆振東部地震の義援金のお願いをさせて頂いておりますが、ロータリアンとして様々な自然災害に対してどの様な考えで臨む必要があるのか皆さんと考えたいと思います。今更ですが、ロータリークラブは奉仕団体として活動しており、我が多賀城クラブでも5大奉仕活動の信条を掲げております。クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕の五大奉仕としてご存じの通りです。ここにガバナーからの文書が届いております。文書にはこう書かれております。曰く、2520地区として「心からの義援金を募り」、更に「今回の地震並びに今後の義援金に対応したい」とも述べています。そして最後に「みなさまの真心をお待ちする」と締めくくっていますが、さて、私たちはロータリアンとして五大奉仕

の信条だけで心からの真心が表現できるのでしょうか？

ここで思い出してほしいのは、ロータリーには根本的な2つの奉仕理念が有る事です。一つは他人の事を思いやり、他人の為に尽くそうと言う主に社会奉仕活動に関する理念。これを日本語ではこう表現しています「超俄の奉仕」と。そして「もう一つは科学的、かつ道徳的な経営方針により自分のそして同業者の事業発展を計り、業界全体のモラルを高めるための職業奉仕活動に関する理念。これは日本語で「もっとも奉仕する者、もっとも多く報われる」と。どちらもみなさん聞いたことがお有りですね。この2つの理念に沿えば、今回の義援金に関しても社会奉仕活動としてのウェイトが強いものだと思えてきませんか？

今回の地震に対する義援金に対して会長として皆さんにお願いしたいのは、私達もかつて日本中いや世界中からの義援金と真心に触れた経験が有った事を思い出して頂き、一人のロータリアンとしてロータリーの奉仕理念のひとつである「超俄の奉仕」にしたがって行動して頂きたいと思えます。そしてその結果を我々の代表のガバナーを通じて社会に表現したいと思えます。募金は決して金額では有りません。いつも人として他人の事を思いやり、モラルを高める為の姿勢がロータリアンとして問われていると思っています。以上で挨拶とさせていただきます、ありがとうございます。

幹事報告 引地 辰男 幹事

◇公益財団法人 ロータリー米山記念奨学会より

・ハイライトよねやまをいただきました。

◇会報をいただきました。ありがとうございます。

塩釜東RC 様

仙台東RC会長 挨拶 庄子 顕 会長

皆さまこんにちは。仙台東 RC の会長をしている庄子です。親クラブの会長ですというようなご紹介をいただきますと、順番で会長を引き受けた形ですが、先ほど宮城会長がおっしゃいましたように自覚を持って活動していかなければならないなと思った次第です。



先月8月27日の例会に宮城会長、阿部会長エレクト、引地幹事に来ていただきました。たまたま移動例会ということで、うちの福田会員のANAホリデイインというホテルで行われました。ちょっと狭い思いをさせて申し訳ありませんでした。そんな形で来ていただきましたので、私どももお邪魔させていただきました。

先ほど、佐山さんともお話しさせていただきましたが、3.11の震災の時、多賀城RCの少年野球の野球道具であったり、大会であったり、我が仙台東RCの方でもお手伝いをさせていただきました。それから7年も経って、早いものだなと感じております。震災を経験している私たちが、どれだけ社会に貢献していけるのかということだと、やはり我々ロータリークラブの役割はたくさんあるのではないかと痛感しております。つい先だって今日来ている小野寺と一緒に姉妹クラブの宇和島RCに義援金を持って訪問させていただきました。その時も悲惨な状況を案内していただきました。3.11を思いだし、我々の震災の被害も甚大でありまして、かなり悲惨な状況でしたが、こういったロータリー活動をさせていただいたり、皆さんの前で話をさせていただくということが生かされているのだなとつくづく感じております。先ほどの野球大会の話であったり、多賀城RCさんも被災したという話であったり聞くと、震災というものがまだまだ終わってないし、それを教訓にして社会に奉仕していければよろしいのかなと思っています。そんなお話をさせていただいて、宮城会長のお話の通り、ロータリアンというのを自覚していくのかなと思っています。今後とも親クラブということで多賀城RCさんのお付き合いもたくさんあると思いますので、ますます友好を深めて末永くお付き合いいただければと思っています。今日は例会にお邪魔させていただきました。誠にありがとうございました。

委員会報告

○親睦家族委員会 大場裕之 委員長
例会の後に委員会を開催します。よろしくお願いします。

○社会奉仕委員会 高井賢太 委員長
今月9月30日(日)に少年野球大会の駐車場の地図を回覧しますのでご確認お願いします。もう一点、10月13日にシンボルガーデンの清掃活動があります。皆さまご出席よろしく願いいたします。

卓話

「科学の発達」

担当:大友 和弘 会員



卓話の御題は私にはまったく似合わない「科学の発達」についてお話をさせていただきます。卓話の方法も皆さんにわかり易くプロジェクター等を使用して目と耳の両方に訴えるのが望ましいのですが、アナログな私です。耳にだけ訴えますので勘弁してください。

実は私、八月にゴルフクラブを取替えました。原因は練習もしていないので、調子が悪いとか云うわけでもなかったのですが、ライバルがラウンド後の食事中に「絶好調なんですよ。クラブを変えただけなのに。」と来たものですから。と云う話に触発され、妄想してしまい、翌日の開店時間にゴルフショップに赴きました。そして、さも詳しく店員さんに「この頃アイアンの距離が落ちてきたのでクラブを取り替えたいのだけれど」と話し、想定していったクラブを試打(試し打ち)させてもらいました。しかしそのクラブは距離も今、使っているものとあまり変わらず、打った感じも想像していたほど良くなかった。店員さんにどれが良いですかねと聞くと、私が最初に試打したクラブのデータから迷い無く2種類のクラブを持ってきて試打するようにいわれました。さすが、詳しい店員さん距離、打感ともある程度納得できるものでした。しかしそこから店員さんの凄さです。シャフトを変えるともっと良くなりますよから始まり、データに基づいた説得力のある話が続き挙句「(本当は機械のデータですとお客様の年齢、技術、体力だと今使っているクラブは無理ですからとは言えず)今、使っているクラブはプロ仕様ですからお客様にとってはこちらのクラブのほうが楽ですから、こちらのほうが良いと思いますよ。」のなんとも言い難いセールストークに打ち負かされ、そうかと思いつつ、われを失い、想

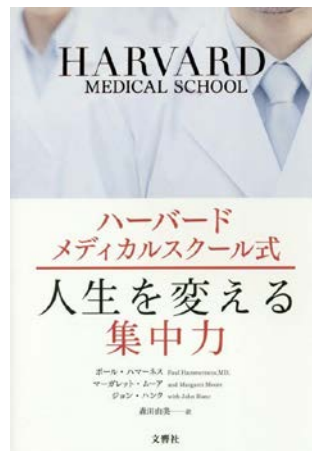
定外のクラブを購入いたしました。まあまあ結果はソコソコと云うところですが、妄想していたようにうまく行かないもので、優しいクラブはありますが簡単なクラブはありませんが結論でした。結論は大場先輩や穀田さんのようにしっかりと練習しないとだめみたいです。私のゴルフはどうでも良い話で、その時に思ったのですが今のスポーツはゴルフに限らず、そのスポーツについて科学的に研究し、より多くの人々が楽しめる様スクールを開設して教え、人口を増やしているように思います。ギアについても理論にあったものが開発されて、進歩、発達しているように思います。そこで思うのは日本には色々なことについて「習うより、慣れる」の理があります。しかし今のように科学が進歩してきて多くの事が科学を土台に発展してくると「慣れるより、習うこと」のほうがしっかりと上達する事が出来るように思います。

ここで話を捻じ曲げてゴルフのことについて少し考えますと今のゴルフギアについてはアメリカのゴルフメーカーが世界を席巻しているように思います。かくいう私も昔は日本のメーカーのクラブを使っていましたが、知らないうちにアメリカのクラブメーカーを使用しています。事、アメリカではゴルフ、スポーツに限らず、すべての分野に於いて科学する事で問題を解決し、解決する事で進歩させ、市場を作っています。

科学の進歩の一つの例としてスマートフォンがあります。使用していない私がスマートフォンを語るのには少々難があるのですが、国内の普及率を調べると世帯保有率が2011年で14.6%、2016年で56.8%、五年間で4倍に上昇、そして2018年6月調べで所有率79.4%だそうです。年代別の個人所有率は20~30代が9割超え、60代シニアで5割超え、ガラケーと逆転だそうです。これを受けて総務省の平成29年版情報通信白書では「データ主導経済と社会変革」と題して「スマートフォン社会の到来」と特集して、発進しています。因みに機種別シェアはApple社のiPhoneが45.4%、つぎがソニーで6.54%のようです。こちらのApple社もアメリカ・カリフォルニアに拠点を置く企業のようにやっぱりアメリカは凄いですね。アメリカはやっぱり科学の国なのですね。アメリカ的に考えると物事を科学する事で問題を見出し、問題を解決し進歩させることで発展していくのですね。スマートフォンについては今の機種でそれ程の不便、問題が無いにも関わらず、「iPhoneの次の機種が出るのを待っている」状態なのですかね。物に対する欲望に捉われている状態に陥っている様にも思われます。またスマホ依存から子供が人と話すことや正しい会話が出来ない、発達障害が発生している事例もあるようです。時代の流れとはいえ子供世代、若年層のスマホ依存を考える必要もあるのではないのでしょうか。

またアメリカの話です。それは私が5月に入院している時に暇に任せて読んだ、病院のコンビニで買ったハーバードメディカルスクール式『人生を変える集中力』と云う本のお話です、この本は大学の精神科医が

書いたもので、誰もが持っている感情、思考、脳の機能を科学的に分析して問題解決を図るものです。感情の管理や思考を整理する方法を科学的に伝えていきます。面倒くさい本を買ったかなと、思いましたが読み進むと、とても判り易くこんな本もあるのだと感心させられました。



これもまたアメリカの科学ジャーナリスト、ロバート・ライトなる人の書いた『なぜ今仏教なのか』-原題は「なぜ仏教は正しいのか」(サブタイトルは瞑想マインドフルネス悟りの科学)と云う本です。現代人が感覚だけに従い自然選択をすると、甘いものがやめられない、他人の成功が妬ましい、等々現代人は進化の結果としてヒトの脳に備わったこれらの「錯覚」に惑わされがちだ。錯覚を振り払い、より良く生きるすべはあるのだろうか、答えを求めて仏教の瞑想合宿に参加し「マインドフルネス瞑想」の驚くべき効能と、ブッダの奥深い教えに出会う。作者自らが体験し仏教の真価を科学的に解説した判りやすい本です。



この本について私は最初、何故アメリカ人のジャーナリストが仏教なのと云う感じで読み始めましたが、日本の仏教の本は科学的に仏教を科学的に捉えた本はあまり無い様に思います。また仏教と云うと私たち日本人にとっては宗教であり、先祖崇拝とか葬式が概念としてすり込まれており、宗教と云うことでは輪廻等の超自然的な話やとても判り辛い所がありますが、この本は仏教を認知科学や心理学と云う科学とする事でわかり易くなっています。そして悟りを科学的に判り易く捉えています。科学の力を感じさせられました。

この二冊の本を読んで自分が楽になったと云うこと

もあるのですが、アメリカの医師やジャーナリストがこの様な本を出すと言うことも普通のことですが、この様な本が売れると言う事はアメリカの国民も相当に病んでいる？ストレスが溜まっているのか？科学の発達が原因？発達のスピードについて行けない？ストレス、心の不安、世界共通の問題になっているのでしょうか。

また話はそれですが今、本屋さんに行くとアメリカの大学の医師が書いた本スタンフォード式「最高の睡眠」とか、世界のエリートが遣っている「最高の休息法」等々とても多いです、科学は睡眠と休息まで来たかと思いつつ買ってくる私も如何な物と思うのですがね。正直、ストレスと不眠はたまにあります。

さてまとめです。今まで科学の発達について色々話させて頂きました。科学が色々な分野で発展することで生活が便利になり、そして豊かになり、経済も活性化してとても喜ばしいことです。これからもっともっとIT化が進み、スピード感のある世の中になっていくでしょう。止めることはできないと思います。しかし科学の発達に伴い、社会であり、人間に歪み出てきて問題の発生が予想されます。問題をしっかり受け止め解決しながら進んで欲しいと思います。IT化がいくら進んでも人間の営みが最優先されるべきです。「科学が全ての問題を解決できるか」というと少し難しいところもあると思います。少子高齢化や人口減少の問題も置いてけ堀にしないで欲しいと思います。アメリカ、中国の二強に近づき、追いつくには、日本人はもう一度働くことに誇りを持ち、勤勉を取り戻す働き方改革を考えてなくてはならないかと思ひます。

スマイルボックス

S・BOX委員会

- ・仙台東 RC 庄子会長、秋葉会長エレクト、小野寺幹事よりスマイルを頂きました。
- ・卓話させて頂きました。ありがとうございます。

大友会員

- ・仙台東 RC の皆さまようこそ。大友さん卓話ありがとうございます。

宮城会長、引地幹事

佐山、田口、林、岩井、鈴木(誠)、穀田、佐藤(仁)

横田、阿部(新)、佐藤(徳)、小向、芦澤

高井、大熊、小島各会員

本日の合計 26,000 円

出席率報告

出席委員会

本日第 2240 回出席率 25/35(-1)名 73.53%
前々回第 2238 回例会修正出席率 76.47%

○メイクアップ

次回卓話

9/27(木) 「ガバナー公式訪問」

国際ロータリー第 2520 分区 2018-19 年度

ガバナー 田中 堯史 様

閉会点鐘

13 時 30 分

文責:雑誌会報委員会 小島 邦道